

平成 19 年 2 月 19 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役会長兼社長
ディー・ジー・ワスコム
(コード番号: 東証第一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

エクソンモービル有限会社 平成 18 年 12 月期決算に関するお知らせ

東燃ゼネラル石油株式会社(東証第一部上場)の親会社であるエクソンモービル有限会社(エクソンモービル アジア インターナショナル SARL の 100%出資会社)は、平成 18 年 12 月期業績(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)を下記の通り決定しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 18 年 12 月期業績概況

平成 18 年 12 月期の業績は、平成 14 年に実施したエッソ石油有限会社、モービル石油有限会社の合併に付随する会計処理の影響を引き続き強く受けています。したがって、合併に伴う特別な損益を除いた業績結果も合わせて以下に公表いたします。合併に伴う特別な損益の影響は、営業権の償却によるものです。

合併に伴う特別な損益の影響を含めた場合

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 18 年 1-12 月期 (A)	20,749	12	118	▲3
平成 17 年 1-12 月期 (B)	18,441	▲63	45	▲5
増減額 (A-B)	2,308	76	72	3
増減率(%)	12.5	-	159.1	-

売上高

製品の販売数量は減少したものの、原油高を反映した製品価格の上昇により、売上高は前年度比 13%増の 2 兆 749 億円となりました。

営業利益

前述の営業権償却分を含めた営業利益は、前年度比 76 億円増の 12 億円となりました。これは、石油製品の販売数量は減少したものの製品マージンが改善したことや、堅調な市況に支えられた化学部門が増益に貢献したことなどによるものです。さらに、年金費用や人件費の減少などによる前年度比 14 億円の経費削減も営業利益の改善に寄与しました。

当期純利益

営業外利益は、東燃ゼネラル石油株式会社からの受取配当が引き続き大部分を占めています。当期の主な変動要因としては、輸出に関する為替差損益の影響などにより、前年度比 3 億円減の 105 億円となりました。経常利益は、前年度に比べ 72 億円増加し 118 億円となりました。また、特別損益は、前年度は 20 億円の損失だったのに対し、51 億円の損失となりました。エクソンモービル有限会社は、当年度より減損会計基準の適用を開始し、特別損益には 35 億円の損失が計上されています。この結果、税引後の当期純利益は 3 億円の損失となりました。なお、営業権の償却および減損損失は非現金費用であり、税務上の損金にはあたりません。

合併に伴う特別な損益の影響を除いた場合

前述の通り、当社は、合併に伴う特別な影響を除いた業績結果が平成 18 年度における営業活動をより適切に反映していると考えています。平成 14 年にエクソンモービル有限会社を設立した際の合併に伴う主要な影響を除いた業績は以下の通りです。これはエッソ石油が平成 12 年にモービル石油の株式を取得したことに関連して計上した営業権の償却による影響です。償却期間は、平成 14 年から平成 18 年までの 5 年間です。

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 18 年 1-12 月期 (A)	20,749	219	324	204
平成 17 年 1-12 月期 (B)	18,441	143	252	201
増減額 (A-B)	2,308	76	72	3
増減率 (%)	12.5	52.7	28.7	1.4

なお、過去数年間にわたる営業権の償却ならびに固定資産の減損(いずれも非現金費用)に伴い、エクソンモービル有限会社の資金には余裕があり、その結果、借入金の返済および優先株式の償還を実施しました。

2. 当社の取組み

安全・健康・環境に配慮した健全な操業

当社は、「安全で、環境に配慮した方法で、かつ適正な価格で製品を供給する」ことが最も重要な役割であると考えています。安全・健康・環境に対する徹底的な取組みは事業活動における最優先事項であり、操業上のすべての面において優れた水準を維持、向上させていくことを基本原則としています。

販売部門

エクソンモービル有限会社は、エクソンモービル・ジャパングループとして、「エッソ」、「モービル」、「ゼネラル」の3ブランド共通の販売戦略を採用し、強力なネットワークにより顧客に対して利便性と優れたサービスを提供しています。

セルフサービスステーション(セルフSS)の積極展開に引き続き努め、昨年9月にはエクソンモービル・ジャパングループ全体のセルフSSが業界で初めて1,000店舗を突破しました。特に、セルフブランド「エクスプレス(Express)」は、“もっとも早く、簡単で清潔”なサービスをコンセプトに、当グループ全体で700ヵ所近い規模に拡大しました。エクスプレスSSの代表的なサービスである非接触型決済ツール「スピードパス」、および「エッソ」、「モービル」、「ゼネラル」3ブランド共通のクレジットカード「シナジーカード」の会員数は、ともに昨年100万人の大台を超えました。エクスプレスブランドのさらなる差別化と販売促進のため、今後も顧客のニーズに対応した新技術を導入しサービスの向上を目指します。また、株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの業務提携に基づき、コンビニエンスストアとセルフSSの複合店舗に関するパイロットテストを11ヶ所(平成18年12月末現在)のSSで実施しています。今後は、複合店舗が顧客のニーズを十分に満たすことを検証した上で、本格的に展開していく予定です。このほか、ドトールコーヒーショップ併設店舗の強化を進め、高品質潤滑油のオイル交換サービスをすばやく快適に提供することを目的とした「モービル1センター」の拡大にも努めています。

化学部門

エクソンモービル有限会社は、当グループの主要企業である東燃ゼネラル石油株式会社、東燃化学株式会社の総代理店として、化学品の販売・物流業務を担っています。国内石油化学事業の販売・物流業務をエクソンモービル有限会社に集約することにより、エクソンモービル・ジャパングループとして事業の一層の効率化を図っています。

以上

貸借対照表

(平成18年12月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	837,049	負債の部	735,863
流動資産	337,578	流動負債	491,923
現金及び預金	1,125	買掛金	368,881
売掛金	173,892	未払揮発油税等	37,818
製品及び商品	11,625	短期借入金	1,383
前払費用	4,333	未払金	50,527
未収還付法人税等	689	未払費用	7,432
未収消費税等	295	受託保証金	17,877
繰延税金資産	1,868	前受金	5,869
短期貸付金	92,730	賞与引当金	490
未収入金	51,846	その他	1,642
その他	5		
貸倒引当金	△ 835		
固定資産	499,470		
有形固定資産	126,739		
建物	15,176	固定負債	243,940
構築物	12,783	長期借入金	159,000
油槽	820	繰延税金負債	30,284
機械及び装置	7,838	退職給付引当金	49,153
車輛及び運搬具	16	修繕引当金	290
工具・器具及び備品	1,754	廃鉱費用引当金	5,212
土地	87,146		
建設仮勘定	1,202		
無形固定資産	9,693	純資産の部	101,185
借地権	7,527	株主資本	100,902
ソフトウェア	1,709	資本金	50,000
その他	456	資本剰余金	14,264
		資本準備金	14,264
		利益剰余金	36,638
		利益準備金	5,375
投資その他の資産	363,037	その他利益剰余金	
投資有価証券	1,000	固定資産圧縮準備金	21,615
関係会社株式	341,803	探鉱準備金	600
長期貸付金	1,089	繰越利益剰余金	9,046
長期前払費用	6,649		
長期預託保証金	12,838	評価・換算差額等	282
その他	816	その他有価証券評価差額金	282
貸倒引当金	△ 1,160		
資産合計	837,049	負債・純資産合計	837,049

損益計算書

自平成18年 1月 1日
至平成18年 12月31日

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		2,074,934
売上原価		1,988,677
売上総利益		86,256
販売費及び一般管理費		85,021
営業利益		1,234
営業外収益		
受取利息	237	
受取配当金	11,374	
その他	258	11,869
営業外費用		
支払利息	1,238	
為替差損	57	
その他	31	1,327
経常利益		11,776
特別利益		
固定資産売却益	2,005	
ゴルフ会員権売却益	77	2,083
特別損失		
減損損失	3,533	
固定資産売却損	2,110	
廃坑費用引当金繰入損	1,568	
ゴルフ会員券売却損	10	7,222
税引前当期純利益		6,637
法人税、住民税及び事業税		128
法人税等調整額		6,779
当期純損失		271

平成18年12月31日現在

役員の状況

エクソンモービル株式会社

ディー・ジー・ワスコム	代表取締役社長
ジェイ・エフ・スプルール	代表取締役副社長
ダブリュー・ジェイ・ボガティ	代表取締役副社長
宮下 治也	代表取締役副社長
ディー・エル・シュスラー	代表取締役副社長
安田 文直	取締役
鈴木 一夫	取締役
谷口 賢一	取締役
吉田 恭二	取締役
宮原 佳典	取締役